

アプリケーションノート 11.

侵入者の検出

警備の限界

パフォーマンスの低下

人間による映像の監視には限界があります。眼の疲れや、集中力の欠如、活動限界により、24時間パフォーマンスを維持することができません。そのため、監視レベルの一貫性を維持する事が難しくなり、誤った判断をする可能性があります。

複数判別の難しさ

人間が同時に目で追える対象物は4~5個です。そのため、一度に多くの対象物を監視する場合、取りこぼしを防ぐため、多数の人員を稼働させなければなりません。

人員の不足

警備担当者の高齢化が進む一方で、若い世代の人間は防犯カメラの映像監視のような仕事をやりたがりません。その結果、警備担当者の人員不足が問題となり、早急な解決策が求められます。



防犯カメラの映像

ディープラーニングの利点

高い信頼性

実際の人間による監視と同等の水準で判定し、疲れることはありませんので高いパフォーマンスを維持できます。そのため、ヒューマンエラーが無く、高い信頼性があります。

人件費の削減・人員不足解消

DLによって一部の検査が自動化されることにより、検査人員を減らすことが可能となるため、人件費の削減と同時に人員不足解消にもつながります。



ディープラーニングによる画像検出

ADSTEC